

樟蔭

2026年 10月号 No.843

URL <https://www.education.saga.jp/hp/sagakitakoukou-c/>

佐賀県立佐賀北高等学校通信制課程
〒840-0851 佐賀市天祐二丁目 6 番 1 号
TEL 0952 (23) 2203 ・ 0952 (29) 4189
FAX 0952 (29) 4090



2026年9月17日発行 デジタル版9月29日掲載

10月スクールカレンダー

1 木	後期入学式
2 金	
3 土	
4 日	佐賀・唐津 IS
5 月	月曜 IS
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	佐賀・唐津 IIS (防災避難訓練)
12 月	月曜 IIS (防災避難訓練) 【スポーツの日】
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	
18 日	県生活体験発表大会 (ドゥーイング三日月)
19 月	
20 火	
21 水	
22 木	
23 金	「北通広場」編集委員会
24 土	
25 日	体育大会
26 月	
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	

夏の全国・九州大会報告

—文化とスポーツ、
それぞれの舞台で輝いた挑戦と学び—

この夏、本校の生徒たちは、全国大会や九州大会など、それぞれの舞台で日頃の努力の成果を発揮しました。競技や作品発表、他校の生徒との交流を通して得た経験も、大きな学びとなっています。本紙では、引率者の記録や生徒の声とともに、それぞれの挑戦の様子を紹介します。（詳細は2ページ以降に掲載しています。）

10月から後期のスクーリングが始まります！

受講科目の教科書やリポートが手元にあることを確認しましょう。スクーリングには、遅刻や忘れ物がないようにして参加しましょう。
4月に活動の手続きをしたけれど、前期期間中、スクーリング、リポートなどの学習活動ができなかった人でも、後期科目の受講を申し込んでいれば、10月から受講できます。
受講できるかわからないなど、困ったことがあれば遠慮なく学校に電話してください。
(0952-29-4189)



園芸部が育てているラッカセイが、鮮やかな黄色の花を咲かせました。ラッカセイは、花が咲いたあと、花の付け根の「子房柄（しばうへい）」と呼ばれる部分が伸びて土の中へ入り、その先で実をつ

けるという、少し不思議な育ち方をします。この独特な実のつき方が、『落花生』の名前の由来とされています。地上では可憐な花を咲かせ、見えない土の中で少しずつ実を育てていくラッカセイ。これからどのように成長していくのか、収穫まで楽しみです。

11月スクーリングと主な行事予定

- 8日（日）佐賀・唐津第Ⅰスクーリング
（人権・同和教育講演会）
9日（月）月曜 第Ⅰスクーリング
（人権・同和教育講演会）
15日（日）佐賀・唐津第Ⅱスクーリング
16日（月）月曜 第Ⅱスクーリング
29日（日）佐賀・唐津12月第Ⅰスクーリング
（受講希望調査）
30日（月）月曜12月第Ⅰスクーリング
（受講希望調査）

令和8年度全国定時制通信制体育大会報告

柔道

女子63kg級 昨年の悔しさを乗り越え、全国第3位！

令和8年度全国高等学校定時制通信制体育大会第57回柔道大会が8月16日(日)に東京都・講道館にて開催されました。本校からは佐賀2Aの山口真桜さんが女子個人に出場しました。昨年も出場した経験もあり、集中して試合に臨んだ2回戦では開始早々内股を掛けて見事一本勝ちで3回戦へと進出しました。3回戦では昨年一本負けした選手と対戦、前半は押され気味の試合展開でしたが、後半は本人のペースで攻め込み、背負い投げを掛けて有効を先取、その後は相手選手が負傷したため棄権勝ちとなり準決勝へ進出しました。準決勝では激しい攻防の末、相手選手の背負い投げを受けて一本負けに終わりました。柔道の聖地ともいわれる講道館の畳に立ち、全国の舞台で第3位に入賞できたことは本人にとって大きな喜びであり、感謝の気持ちをもって臨んだ大会となりました。来年は優勝を目標として稽古に励んでいきたいと本人は意気込んでいます。引き続き温かい応援を宜しくお願いいたします。

「二度目の全国大会」

佐賀2A 山口 真桜

私は8月16日、講道館で行われた全国定時制通信制柔道大会に出場しました。大会前は緊張と不安でいっぱいでしたが、家族や友達からの期待を力に変え、絶対に入賞して帰るという気持ちで試合に臨みました。2回戦では、全回負けた相手と対戦し、リベンジすることができてとても嬉しかったです。全国3位が決まったときは、嬉しさと驚きで、あまり実感が湧きませんでした。ここまで頑張ることができたのは、応援してくれた家族や友達、指導して下さった先生方のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、今回の経験を次につなげ、次は優勝を目指して頑張ります。

陸上競技

全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技大会の引率をして

今回、第61回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会に本校3名の選手を引率した。大会前日、少しそわそわしていた選手が当日会場入りしてウォーミングアップを始めるころには表情が引き締まっていき、それぞれの招集時間には気合十分で臨むことができていた。結果は、男子400メートル(月2 山中さん)1'00"68、男子800メートル(佐賀1A 片山さん)2'24"30、男子1500メートル(佐賀2A 酒見さん)4'56"61、男子4×400R(山中さん、片山さん、酒見さん、に他校生を加えた4名で出場)4'11"85であった。いずれも入賞することはできなかったが、それぞれの目標タイムを更新したり自己ベストを更新したりと、それぞれが満足できる結果であった。大会や合同練習会を通じて既に選手同士は顔見知りであり、県内他の通信制・定時制の高校生徒との交流は活発で佐賀県選手団として明るく活動することができた。

全国大会を振り返って

月曜課程2年

私は陸上競技400mとマイルリレーに出場しました。大会が始まる前まではとても緊張していましたが、スタート直前になると「早く走りたい」という気持ちが込み上げ、緊張感は抜けました。今回の大会で自己ベストを更新することはできましたが、入賞には届きませんでした。それでも、大会を通して最後まであきらめないことの大切さを学び、他校の選手との交流を通して、普段では味わうことのできない貴重な経験をすることができました。今回の大会を応援して下さった先生方、本当にありがとうございました。来年も陸上競技を続ける予定なのでさらに高みを目指して頑張りたいと思います。

次の記録を目指して

佐賀課程2年

今回、全国大会の1500mに出場しました。大会前は、全国大会という大きな舞台に立つことへの緊張や不安がありました。しかし、実際に走ってみると、これまで練習してきた成果を出し切ろうという気持ちで、最後まで走り抜くことができました。一方で、スタート直後に先頭の二人につられてしまい、自分のペースを乱してしまったことが反省点です。自分のペースを守ることができていれば、もう少し良い記録を出せたのではないかと思います。今回の全国大会を通して、さまざまなことを学ぶことができました。この経験を生かし、来年はさらに良い記録を出せるよう、これからも練習に励み、成長していきたいです。

令和8年度全国定時制通信制体育大会報告

卓球部

女子個人 緊張を乗り越えて挑んだ全国大会

全国高等学校定時制通信制体育大会第59回卓球大会が令和8年8月4日から6日にかけて、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館にて行われました。この大会に向けて、週に1回の練習や佐賀北高校全日制との練習試合を通して、技術の向上に努めてきました。特にサーブの安定性やスピード、回転量などの技術に力を入れて練習を行いました。試合当日、二人ともとても緊張しており、試合に入ると、練習してきたサーブがうまく入らない場面も見られました。二回戦では、吉武（月4）は酒井（天理高校）に2-3で惜敗しましたが、大坪（月4）は緊張を乗り越え、3-0で菅田（星槎国際高校）に勝利しました。三回戦は、0-3で鈴木（ルネサンス大阪高校）に敗れました。大舞台の中で、二人ともよく健闘したと感じました。

「最初で最後の全国大会」

月曜課程4年

東京に行くのは初めてだったので、とても楽しかったです。中学生のころに卓球をしていたので、試合に何度も出場したことがありましたが、全国大会は初めてだったので、とても緊張しました。実際に会場に入ると、身が引き締まるように感じました。結果は2回戦敗退で悔しかったです。再び卓球ができて、とても楽しかったです。全国大会はレベルが高く、待ち時間にほかの選手の試合を見ることも楽しめました。高校生活の最後に素敵な思い出ができ、貴重な経験となりました。サポートしてくださった先生方、ありがとうございました。またいつか卓球をしたいです。

バドミントン部

男女個人 全国の強豪に挑んだ熱戦！一粘り強く戦い抜いてー

8月18～21日、神奈川県小田原アリーナで開催された「第28回全国高等学校定時制通信制バドミントン大会」に佐賀4C松本裕太朗さん、月2尊田真未さんが出場しました。初めての場所で生徒も私自身も不安でしたが、同じく出場される佐賀県の皆さんと初日から一緒に行動させてもらい、心強かったです。

初日は、開会式等が行われ、19日からいよいよ試合が始まりました。尊田さんは、アジア大会などにも出場経験のある選手とあたり、残念ながら負けてしまいましたが、最後まで頑張っていました。松本さんは初戦である2回戦を突破し、3回戦へ進出しました。3日目は、松本さんの3回戦でした。強豪神奈川県の手相手にも2セットとも2桁得点と粘りましたが、惜しくも敗退となりました。

大会を通して、レベルの高い大会で試合をできたことは生徒2人にとっても貴重な経験になったと話してくれました。私自身も生徒の頑張りに感銘を受け、またバドミントンの魅力を感じることができた大会でした。最後に、大会運営・引率準備に携わっていただいた皆様に感謝申し上げます。

「大会を通して感じたこと」

佐賀課程4年

今回、僕が大会に出場して感じたことは、人の温かさです。当たり前のことですが、先生や対戦相手がいないと試合はできませんし、そこに仲間がいればより楽しく試合ができます。選手として久しぶりの大会だったこともあり、きっとそのことを忘れていたのだと思います。結果は立てた目標に一步及びみませんでした。試合を楽しむことができ、対戦相手を含めた選手たちとの交流も心から楽しむことができました。4年生ということもあり、最初で最後の大会でしたが、悔いはなく、やり切れたと思います。来年も佐賀北が優勝することを願っていますし、少しでも力になればと思います。

「全国大会で得た貴重な経験」

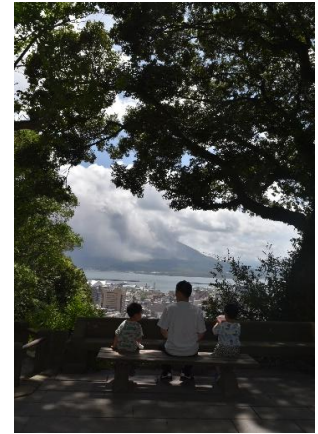
月曜課程2年

全国高等学校定時制通信制大会のバドミントン個人シングルスに出場しました。対戦相手はアジア3位の選手で、とても貴重な経験となりました。大会は温かい雰囲気、良い方ばかりでした。大会出場にあたり、ご協力くださった先生方や家族をはじめ、多くの方々に感謝いたします。今回の経験をこれからの練習に生かし、さらに成長できるよう努力していきたいです。来年も全国大会に出場できるよう頑張ります。

第10回全九州高等学校総合文化祭(鹿児島大会)写真部門の報告

撮影大会で銅賞を受賞

令和8年7月10日(金)～12日(日)に第10回全九州高等学校総合文化祭(鹿児島大会)の写真部門が開催され、開会式・撮影大会・交流会に、本校から唐津4Bの川崎怜奈さんが参加しました。川崎さんは、前年度の佐賀県高等学校総合文化祭に出品した作品「猫と少年」で佳作を受賞し、今回の大会への出場につながりました。鹿児島大会では、撮影や作品鑑賞、生徒交流会など、3日間にわたってさまざまな活動が行われました。本大会中に撮影した写真を1枚選んで提出した「桜島と親子の夏」が最終日の表彰式で見事、銅賞を受賞しました。その後の講評会や他県の生徒との交流を通して、多くの刺激と学びを得る大会になりました。



作品名「桜島と親子の夏」

「鹿児島での3日間を振り返って」

唐津4B 川崎 怜奈

一日目の午後は、フェリーで桜島に行き、鳥島展望所で猫を撮影したり、湯之平展望所から桜島の景色を眺めたりしました。二日目の午前中は、城山公園展望台で最後の撮影をしました。午後の生徒交流会では、九州各県から集まった生徒さんたち交流をしました。同じ目標に向かって努力する仲間がいることを実感し、とても励みになりました。夜は「カゴシマシティビュー夜景コース」に乗り、夜景と鹿児島県の歴史の案内を楽しみました。三日目は表彰式があり、最後に同じ班のみんなで写真を撮ることができて嬉しかったです。暑くて充実した3日間でした。撮影大会では、桜島を眺めながら休憩する親子の様子を撮影しました。暑い中でも穏やかな雰囲気が伝わるよう、木漏れ日などを意識して撮影した作品が銅賞に選ばれました。今回の大会を支えてくださった皆さんに感謝したいです。

全国高等学校総合文化祭 あきた総文祭2026の報告

「忘れられない大会に あきた総文祭2026」

7月29日(水)～8月1日(土)、秋田市のアトリオンで「第50回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2026)」が開催され、佐2Aの二宮幸穂さんが参加しました。ホールには出場校の文芸部紹介や文芸部誌が並び、全国の文芸部の活気が伝わってきました。30日には開会式が行われ、パイプオルガンの生演奏を鑑賞しました。文学研修では「セリオン」と「土崎みなと歴史伝承館」を訪れ、秋田の景観・歴史・文化を学びました。31日の全体交流会「詩のボクシング」では出場者のパフォーマンスに会場は笑いに包まれました。そして本番の分科会。各都道府県1席の強者達が自分達の作品について活発に意見交換を行いました。二宮さんは「あなたがあの作品を書いた人なの!」と声をかけられるなど、充実した時間を過ごしていました。最終日の俳句企画「なまはげマツハ」でも会場は大いに盛り上がり、その余韻が残る中で大会は終了しました。全国の仲間達と交流を深められた、忘れられない大会となりました。

「色とりどりの物語に触れて」

佐賀2A 二宮 幸穂

文学にゆかりのある秋田という地で、発想力、文章力、表現力ともに優れた作品に触れながら過ごした学び多き三日間でした。

私が参加した散文部門の分科会では、事前に「予言」というテーマで二千字の短編を書き下ろし、四人ずつのグループに分かれて、工夫、感銘、疑問点などを記したカードを交換し合うというワークを行いました。出会った物語の切り口は予想以上にバラエティー豊かでした。斬新な視点の物語も多く、テーマを真正面からしか捉えることができなかった私にとって、とても勉強になりました。また、自分では気が付かなかった自分の作品の魅力を沢山教えて頂き、今後の創作活動へのモチベーションや自信に繋がりました。

出場するにあたり、支えてくださった先生方、家族、大会関係者の方々に心より御礼申し上げます。あきた全国総合文化祭での貴重な経験は、私の人生において色濃く残る大切な一ページとなりました。この経験を糧に、今後の創作活動をより自分らしく、豊かなものにしていこうと思います。

書道部 全国の舞台で大きな成果! 受賞報告

第42回 高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会 毛筆の部「産業経済新聞社賞」受賞

8月23日(日)に日本武道館で開催された「第42回 高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会」において、本校書道部の月2 阿部美月さんが、毛筆の部で産業経済新聞社賞を受賞しました。

本展覧会は、全国から多くの作品が寄せられる書写書道の大展覧会です。日頃から積み重ねてきた練習の成果を発揮し、全国の舞台で見事な受賞となりました。阿部さんに、作品に込めた思いや受賞した時の気持ちを振り返ってもらいました。



『受賞を励みに』

月2 阿部 美月

8月23日に日本武道館で行われた第42回高円宮杯授賞式にて、産業経済新聞社賞を受賞いたしました。評価していただいた喜びと同時に、これまで作品に向き合ってきた時間が報われたと感じています。

今回、私が臨書したのは、『黄庭堅 松風閣詩巻』という古典の「釣臺驚濤」の部分です。『松風閣詩巻』は、北宋時代を代表する書家・詩人である黄庭堅が、晩年に左遷先の地で詠んだ自作の詩を記した行書の最高傑作の一つです。黄庭堅の波打つような横画や左右への払いなどの独特な表現からは、不遇に耐える強い意志が感じられます。そこで、私も作品に、高いプレッシャーや困難な状況に直面しても折れることなく、目標に向かって粘り強く行動し続ける思いを込めました。

熱心にご指導いただき、応援し寄り添ってくださった先生方や家族に、心より感謝を申し上げます。式典で他校の素晴らしい作品に触れて得た刺激を忘れず、これからも精進を重ね、より魅力的な字が書けるよう高い目標を持ち、書道技術の向上を目指して練習に励んでいきます。

文芸部入賞報告

『第27回 杉原千畝記念短歌大会 佳作』

「第27回 杉原千畝記念短歌大会」において、本校文芸部の佐賀2B 松野基晴さんの短歌が、佳作に選ばれました。この大会は、元外交官・杉原千畝氏の功績を伝え、短歌を通して「平和・命・思いやり」について考えることを目的に開催されているものです。現在では、国内外から多くの作品が寄せられており、その中から松野さんの一首が選ばれました。

『杉原千畝記念短歌大会佳作受賞して』

佐2B 松野基晴

受賞作品 特攻に一度は桿(かん)を握りたる手今はその手で孫抱く喜び

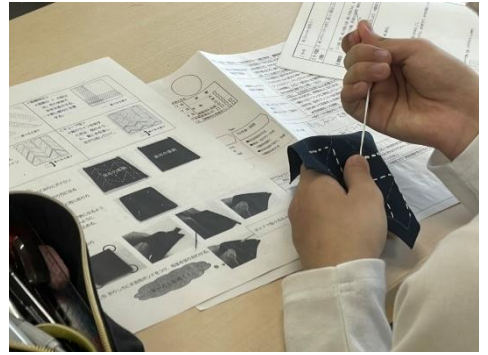
この度、杉原千畝記念短歌大会で佳作に選んでいただき大変光栄に思っています。

この作品は、短歌を始めて二ヶ月たった今年の5月に作ったものです。一昨年亡くなった父のことを歌にしました。父は戦時中、志願して予科練にいました。昭和20年の6月に、上官の命令で特攻の志願書を書かされて出たそうです。それから終戦まで出撃命令にビクビクしていたそうです。特攻の訓練もしていたようです。同期の何人かは出撃して行ったそうです。

私に娘が生まれた時、とても喜んで抱いてくれました。私は「生きていてくれてありがとう」という思いでいっぱいになりました。そんな思いを歌にしました。杉原千畝記念短歌大会は「平和」や「命」をテーマにしていることを知りピッタリだと思い応募しました。

体験を通して広がる学び ―集中スクーリング報告―

7月12日(日)・13日(月)の2日間、集中スクーリングが実施され、のべ196名の生徒が参加しました。普段のスクーリングとは異なる形式で、各教科の特色を生かした体験的な学習が行われました。音楽ではウクレレの演奏を体験し、実際に楽器に触れながら、音を奏でる楽しさを味わいました。書道では篆刻に取り組み、文字を印として表現する技法に触れました。また、家庭科では日本の伝統的な手仕事である「刺し子」でコースターを製作し、一針一針、丁寧に作品を仕上げました。その他の教科でも、実習や観察、実験などを取り入れた学習がお子合われました。普段とは異なる体験を通して、各教科への興味や理解を深める2日間となりました。



「刺し子」でコースター製作の様子(家庭科)

令和8年度 文 化 祭

7月12日(日)・13日(月)に文化祭を開催しました。

展示作品は手芸・写真・書道・絵画など作品出品者数は20名(33点)で、多種多様の出品の中から鑑賞者の投票により優秀賞が決定しました。

音楽部のステージ発表では、佐賀1Aの池淵美咲さん、佐賀1Bの伊藤愛子さん、佐賀2Aの小川紅葉さん、月2の白水マリアさん、佐賀3Aの江里口さくらさん、佐賀3Aの御厨愛海さん、佐賀3Bの吉原悠花さん、佐賀3Bの野田桜子さん、佐賀4Aの原口凜々花さん、月4の無津呂洸さん、月4の土井望実さんが演奏を披露しました。

バンドやユニット、ソロギターで「君と夏フェス」「カブトムシ」「夢見る少女じゃいられない」など6曲を演奏されました。観客全員が盛り上がり、楽しいひとときを過ごすことができました。

文化祭当日の猛暑の中、皆様のご協力に感謝いたします。来年も生徒が楽しんで参加できる文化祭にしたいと思います。皆様のご協力をこれからも宜しくお願いします。

展示作品優秀賞

月 2	阿部 美月	書(王鐸)
唐3A	赤堀 八重	洋裁
月 4	古賀 葉奈	絵画(自由)



つながる想い、ひとつの冊子に。～「北通広場」編集委員会のお知らせ～

★各クラス委員さんへ

10月23日(金)10:00～12:00に北高通信制の図書室(佐賀課程)と第3教室(唐津・月曜課程)にて、編集委員会を開きます。各クラス2名以上の参加をお願いします。

★全生徒のみなさんへ

10月ⅠS・ⅡSのホームルーム時に、各クラスの寄せ書きを行います。クラスごとのテーマに沿って自由にメッセージを書いてください。イラストの応募も大歓迎です!自薦・他薦は問いませので、描いてみたい方はぜひご参加ください。

第66回 佐賀北高校通信制体育大会

スポーツの秋 体育大会で爽やかな汗を流そう！！

10月25日(日)に第66回佐賀北高等学校通信制の体育大会が行われます。

体育大会に参加して爽やかな汗を流してみませんか？

参加した生徒には、出校1日、特活2時間、体育の面接時数が2時間認定されます。

体育を受講していない生徒も自分の体操服で参加できます。

(1) 集合時間 午前9:45(場所:未定)

(2) 服 装 体育時の服装・体育館シューズ

※規定の服装以外では、体育の面接時数が減になります。

(3) 出校・特活 出校1日、特活2時間、体育面接時数2時間が認定されます。

閉会式後に点呼を行います。確実に出席点呼を受けて下さい。

(4) 種目 ソフトバレー ・ バドミントン ・ 卓球

(5) プログラム

競 技	時 間
1. 開会式・競技説明・諸注意・準備体操	10:00～
2. 競技開始	10:30～
3. 競技終了	12:00～
4. 閉会式	12:20～
出席カードの配布と回収・後片付け	

第74回佐賀県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会

参加した生徒には出校1日・特活2時間が認定されます。今大会には一般生徒も会場に入れます。

期 日:令和8年10月18日(日)

会 場:小城市生涯学習センター「ドゥイング三日月」

住所:小城市三日月町長神田1845

電話:0952-72-1616

大会日程: 受 付 9:00～ 9:30

開会式 9:30～10:00

発 表 10:00～12:30

昼食(審査) 12:30～13:30

閉会式 13:30～14:00

〈出校・特活を認定されるには…〉

○受付時間(9:00～9:30)に会場で、
本校職員から出席カードを受け取り、
指定された席に着席し、発表を聞く。

○発表終了後(12:30～)本校職員へ
出席カードを提出する。

令和8年度佐賀県高等学校総合文化祭

大会テーマ 「美と青春の最前線」

令和8年度佐賀県高等学校総合文化祭が開催されます。本校の文化部も出品・出場を予定しており、多くの高校生が日頃の活動や練習の成果を発表します。

通信制で学ぶ皆さんにとっても、さまざまな表現に触れ、その魅力や可能性を知るよい機会です。ぜひ会場に足を運び、高校生たちの熱意あふれる作品や発表をご覧ください。

詳細を知りたい人は、高文連担当(山本)までお気軽にお声かけください。

大会会期

●写真 10月1日(木)～10月4日(日) 佐賀県立博物館3号展示室

●美術・工芸 10月6日(火)～12(月・祝) 佐賀県立博物館2号・3号展示室

●文芸 合評会・表彰式・講評会 10月30日(金) メートプラザ佐賀

●書道 10月14日(水)～18日(日) 佐賀県立博物館2号・3号展示室

●連合音楽会

ソロ・アンサンブル・合唱部門 11月3日(火) 佐賀市文化会館中ホール

吹奏楽部門 11月2日(月) 佐賀市文化会館大ホール

●小倉百人一首かるた 10月3日(土) SAGAプラザ

10月ⅡSは防災避難訓練を予定しています

10月11日(日)・12(月)の通常のホームルームの時間を活用し、防災避難訓練を実施する予定です。実際にHRの教室から決められた場所へ避難する訓練を行います。災害時に自らの身を守る行動を確認する機会となります。もしもの場面を想定した行動を通じて、防災意識を高めましょう。安全への備えとして、ぜひ参加してください。

<災害は突然に—今できる備えを考えよう>

◆台風接近時の学校は…?!

9月1日の「防災の日」には、災害への備えを見直す大切さが改めて呼びかけられました。7月には、同じ九州の熊本県でも大きな地震が発生しました。地震や台風などの自然災害はいつ起きるか分かりません。近年では、大雨による被害なども全国的に増えています。台風が近づくと、スクーリングが実施されるかどうか不安に思うことがあるかもしれません。学校には電話回線が2本しかないため、多くの問い合わせには対応できません。そのため、天候が気になるときは、学校ホームページや「はなまる連絡帳」で最新の情報を確認してください。落ち着いて行動するためにも、ご協力をよろしくお願いします。

◆防災対策はしていますか？

上記に書いたように、様々な自然災害はいつ起こるかわかりません。もしもの時のための、家庭でできる防災対策についても日頃から考えておくことは大切です。例えば、緊急時、地域で避難場所となっている場所を確認しておく、自宅周辺のハザードマップで危険な場所を確認しておく、備蓄品や非常持ち出し袋を準備しておくなど…。もちろん災害は起きないことがいちばんですが、もしものに備える心構えも持つておくとういかもしれませんね。

令和8年度 パソコン講座の案内

本校では、学校外学修によって、単位認定されることがあります。(詳細は「学習のしおり」p.9) パソコン講座はそのひとつです。今年度は下記の要領で開催予定です。希望者は申し込んでください。

〔日程〕12月の平日に5日間で開講予定

〔内容〕Excel、Word、PowerPointなどのソフトの基本動作

〔会場〕佐賀コンピュータ専門学校(佐賀市兵庫町瓦町450-5)

〔受講料〕17,000円(予定)(テキスト・教材費含む)

〔申込期間〕10月ⅡS(10/11)～12月ⅠS(11/30)17:00まで

受講料を添えて、係職員(江頭・石井)へ申し込んでください。(閉校日を除く)

〔認定単位数〕1単位(事前の計画書、事後の報告書の提出が必要です。)

※案内リーフレットを10月ⅠSで配布する予定です。

※講座開催中は佐賀コンピュータ専門学校の駐車場を利用できます。

「スクールカウンセラーの先生への相談」について(ご案内)

気軽に悩みを相談してみませんか?(生徒だけ、または保護者だけでも可能です)

- ・ 期日:10月16日(金)13:30～17:30
- ・ 場所:佐賀北高校通信制保健室
- ・ スクールカウンセラー:青山 のぞみ先生

*希望される場合は、時間の設定をしますので、スクールカウンセラー係(白濱)までご連絡下さい

連絡先:通信職員室 0952 (29) 4189